遠輕日食觀測の印象 (II)

高 城 武 夫

2. 初 登 校

北見國の夜明けは早い．愈々6月1日である．豫期した程寒くない．丹前を着て，朝霞の附近の景色を賞しつゝ朝餐をとる．觀測廣場はまだ露に濕れて，いと物靜かである．天氣は餘りよくない．

朝，先づ，「樹下庵」より西へ數丁もある學校事務所へ出て，職員一同へ挨拶をする．建物の續いた教場で生徒達の勢のよい賑やかな聲がする．休憩時間だらう．窓から好奇心の眼が我々を覗きに來る．「珍しい者が來た」と云ふ噂だ．勞働服を着た，人の好さそうな先生達が數人，忙しそうだ．勤直な生徒がセツセと事務室の拭き掃除をしてゐる．—— 質朴な，簡粗な雰圍氣，純な田園教化の道場，都會地では見られぬ之等の空氣は全てが珍しく，又嬉しく思つた．これより我々は校長代理鈴木良吉先生に觀測のための一切の世話を受ける事になつた．

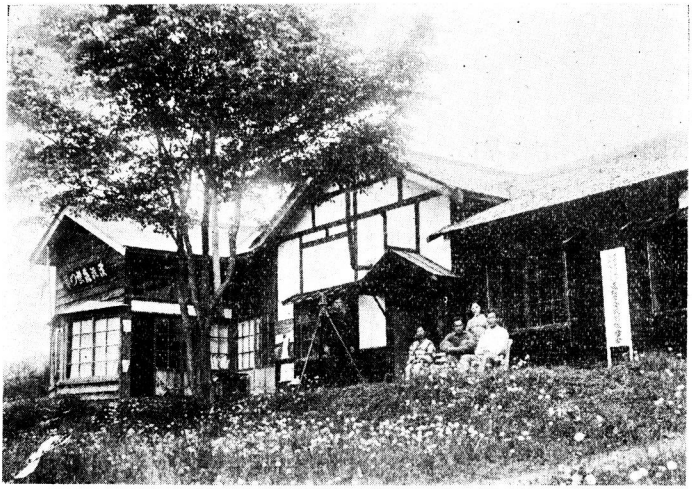
3. 家 庭 學 校

茲で，筆者は，この家庭學校の特色ある雰圍氣を記しておかう．——財團法人「家庭學校」は，もと有名な留岡幸助氏が基督教的教化を本義として建てたもので，本校を東京に，分校をこの下社名淵(サナブチ)の原野に設けた，道廳代用の男子感化院である．現在，10名の職員が，不遇な家庭に育つた30餘名の生徒と共に，5ヶ所の寄宿寮にその家族を共にして獻身的教化の生活をしてゐる．朝から夕まで，「力田而食」をモツト1に，且つ學び，且つ働き，熱と力の修養をする尊い可憐な姿が廣い構内に散見する．

校門を入つて坦々たる道路を3丁餘「樂山寮」を左にみて，「蘇峰林」を過ぐれば，右丘上に「樹下庵」あり，「惠の谷」を過ぎ，「掬泉寮」の前に出で「生命の泉」に到る．この邊より道漸く緩やかな勾配になり，尙進むこと3丁餘，白樺，樽樹の林の苔蒸した丘上に，「禮拜堂」が靜かに孤立してゐる．その景色たるやお伽話の國の如く，その雰圍氣たるや靜寂にして森嚴，さながら夢現

の境地を行く如しである.

廣い構内の西北隅に平和山 (300米) あり，頂上よりオホーツク海を望見す



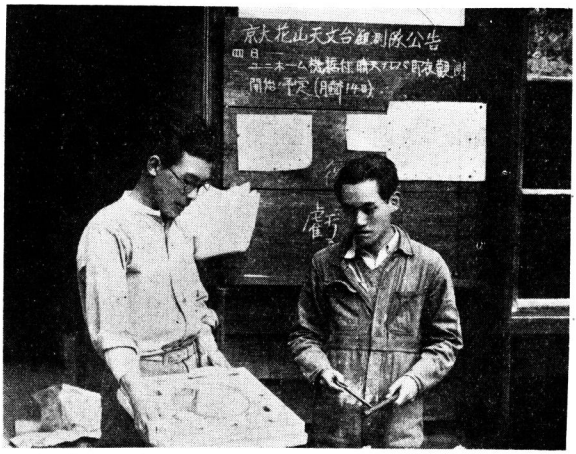
觀測隊宿舍「樹下庵」

る. この山麓一帶に，頃しもわらびが繁殖し，屢々我々の食膳を賑はせられた. そのわらび採りを期待してゐたが，遂に忙しくて機を過したのは殘念であつた. 麓南に畜産部あり，家畜を飼ふ. 丁度，青草の繁つたこの牧場附近は北海道特有の洗練された美しい眺が續いてゐる. 或時は牧場の豚が料理せられ，雞が馳走になつた. 宿舍の裏山はスヾランや山百合の花盛りで，床しい香りに時を忘れた. 平坦な觀測臺には一面にタンポヽが，クロバーと共に滿たされてゐる. 花は日の經つと共に盛りを過ぎ，暖かい日に種の穗が白煙の如く飛んだ.——我々は語り合つた！ 日食觀測に來た我々は，實に理想的の場處に陣取つたものだと，全く『地の利』を得た事を悅んだ. 庵の泉女史や園藝家の大口君が時々，美しい草花をわが觀測事務室の机上を飾つてくれた.

4. 準備の第1日

到着早々，我々は先づ觀測準備を急がねばならぬ. 5月6日が滿月なれば，この日前後の「月」を利用して，ユニホーム機のテスト觀測撮影を行ふ豫定である. それまでに，基礎工事やマウンテイングを完了する要がある. 氣がせける!! 天氣は惡い. 荷解きの終つた1日午後，觀測に必要な雜品，藥品等を取揃へるため，車を呼んで街へ買物に出る. 日食のため，處々修理が施さ

れたと云ふ，廣い平丘の上の田舍道を，十數分かゝつて，やつと街へ出る．……今日は町の運動會だと云ふので，小學校庭へ官民總出である．街中は何處も靜かな公安日．……數丁の商店街を往きつもどりつして，物品を漁つて廻る．不便なやうで案外物は整つた．歸つて，ユニホーム機の組立を始める．同時に，職員・生徒達の手傳ひを得て，高い樹上より25米のアンテナを張る．横山先生の受信機を拜借する．この地には晝夜線の設備がないため，晝間の受信が出來ない．天氣豫報を知るためにも，報時を受信してクロノメーターの歩度(レート)を知るためにも晝線が慾しい．早速，電燈會社へ申込んで配電を依頼する．聽けば，十數粁距つた變電所より電線を切換える要ありと，その結果，道中の外燈・內燈晝夜共すつかり點灯されたと，之れには全く恐縮したのだが，數日後にそれが實現された．その厚意には眞に敬服の外はない．——思へば，この日食のために，過日より，遠輕—京都間直通電話（1通話 ¥ 2.75）が開通された事で，我々も心丈夫であつたが，當局の苦勞も大抵ではない．大口君は天文協會大阪支部特派員として，同支部の西森君へ當地の情報を電話する計畫である．仲々!!——



反射鏡の手入れ　（左より高城・大口）

この日，學術研究會議より，日食のための特別報時型式を通知して來たが，長波の發信なれば，我々には受信は出來ず，ラヂオのみで，目耳法で，クロノメーターと比較してゐた．ラヂオの受信感度良ろしく，國內放送は勿論，遠く南京局をも聽取し得た．

この日（1日の夜），家庭學校職員10名を招き，「お茶の會」を開き，夜の更けるまで，種々，談合した事だつた．（つづく）